

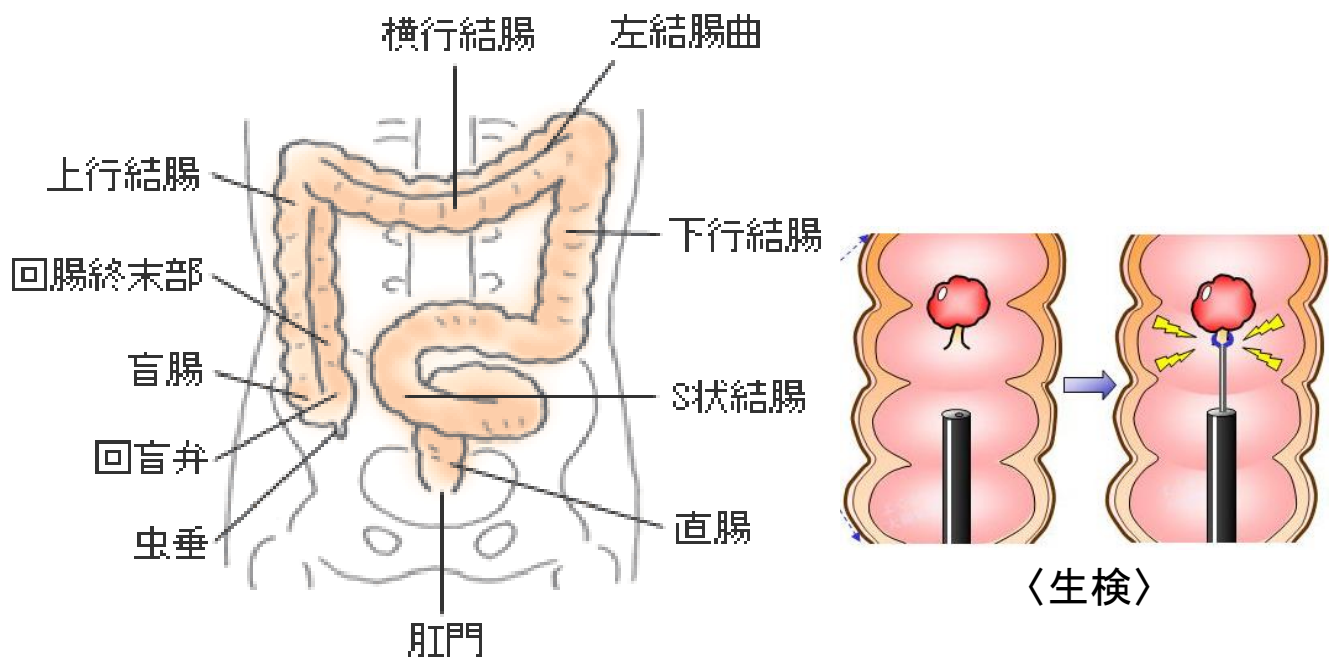
大腸内視鏡検査 説明・同意書

様

大腸内視鏡検査は、あなたの大腸の中を細心の注意を払い、直接内視鏡で観察し診断する方法です。

- 1) 検査前に、内視鏡検査による感染防止のため血液検査をする事があります。
- 2) 検査中に、病変を認めたり疑われた場合、また出血などがみられた場合には、必要に応じて次のような事が行われる可能性があります。
 - ・ 粘膜組織の一部を鉗子でつまみ取り、組織(細胞)の検査を行います(生検)。
 - ・ 病変部位・病変が疑われる部位に安全な色素を散布し、病変を明確にして診断の助けとします。
 - ・ 出血などがみられた場合には、止血操作を行います。
- 3) 内視鏡検査による危険性としては、次のような事が報告されています。
 - ・ ごくまれに内視鏡による粘膜傷害や裂傷、出血を生じること(0.04%)があります。
 - ・ 前処置の薬剤によるアレルギー。
 - ・ 検査前にあった疾患の悪化。

ただし、以上の偶発症が起きないように細心の注意を払い、内視鏡検査は行なわれま
す。万一、緊急事態が生じた場合は、当院医師がその解消に責任を持ってあたりま
す。



令和 年 月 日

担当医署名:

私は大腸内視鏡検査の目的と方法、危険性について上記の事項を読み、また主治
医よりの説明にて了承しました。

患者または代理人署名: